

「転職先」は医学部

増える社会人の再受験

就職したものの、何だかやりがいが見いだせない。そんな社会人たちが一念発起、医学部を目指すケースが増えている。大学側も熱意や経験を歓迎しているようだ。

夕飯を食べながら母親が切り出したのは予想もしない話だった。おばあちゃんが大腸がんで余命3カ月。おばあちゃん子だった堤俊久さん(当時24)は、食

事がまったくのどを通らなかつた、と振り返る。「それから亡くなるまでの半年、死んでいくのをただ見ているしかなかつたんです」

入学金や授業料を減免

大学卒業後、特にやりたい仕事もなく、派遣社員として大手電機メーカーで部署を転々とする日々。あるとき30代の知人が働きながら医学部を目指しているという話を聞いた。

そんな道があるのか。3年前の祖母の死を思い出した。自分ももうすぐ30歳。このままいいのか、という思いは次第に、医者になりたい、という強い思いに変わっていった。

学士編入学と一般入試

そもそも、社会人が医学部を目指すにはどんな道があるのか。受験には、大きく二つの方法がある。大学の2年次または3年次に編入する学士編入学と、高校生・浪人生たちと同じ土俵で勝負する一般入試だ。



東海大学医学部の授業の様子。この日は3年生が血液型を判定する実習をしていた。伊勢原キャンパスにて

参考書を買って独学で勉強してみても、まったく菌が立たない。「1年だけ挑戦してダメならあきらめると決め、予備校に通うことにし、仕事をやめました。予備校の授業料は親に頭を下げて借りました」

堤さんのように、社会人経験を経てから医学部を目指す再受験生が増えている。雇用不安から、安定を求めて資格職の人気が上がっていることが考えられるほか、東日本大震災などを契機に社会的に貢献したい人が増えているのも一因のようだ。また、こうした社会人を支援する体制が整ってきたことも大きい。「問い合わせ件数など、ここ3、4年で社会人の割合がぐんと増えた印象です」

再受験を志す側からすれば、大学の在籍期間は1年でも短縮したい。編入できるに越したことはないと思えるが、鈴木さんによれば、一般入試を選ぶ人のほうが圧倒的に多いのが現状だ。学士編入は実施している大学が限られるうえ、若干名しか取れないことがほとんどで、非常に狭き門。全国の大学を合わせても2500人程度の枠しかない。一般入試での全国の医学部の定員は約9千人と、椅子の数だけで見れば断然多い。

photo 写真部・大嶋千尋

超教育社会 受験

以上が編入し、医師として単立している。教育計画部事務室長の原義徳さんが説明する。「いわゆる受験エリートだけが医師に適しているわけではなく、多様な経験を積んだ人が医療業界にいるのは大切なこと。編入生は学年のなかでも1ダ1的な存在になってくれる。年代も背景も違うさまざまな学生との交流があることは、学びの場としてもよい環境です」

授業の最前列は編入生

予備校でも大学でも、社会人再受験組は、熱意や学びに対する姿勢がまったく違う、というのが共通の見方だ。授業で最前列に座っているのはたいがい編入生。そんな姿を見て、クラスメートたちも刺激を受ける。

東海大学の編入試験は、書類審査、英語と適性試験、面接で

合否が決まる。他大学の多くが理系科目の試験を設けているが、東海大学は「医学は総合的な学問であり、理系だけの学問ではない」という考えから、文系出身者にも広く門戸を開く。実際、志願者の出身系統は人文系が3割を超えて最も多く、次いで社会系が1・5割強と続く(2014年度)。そのかわりに、合格発表から入学までの期間にも課題を与え、必要な理系の基礎知識を身につけさせる。

14年度志願者の平均年齢は29・6歳。なかには60代、70代の志願者もいたという。

広く社会を見てきた経験からサービスや経営などの観点でも医療を考えられる強みがある一方で、医師として働き始める年齢を考えると、ハンデもある。外科手術で必要とされる手先の器用さは若い頃からのトレーニング

ングがものをいうし、老眼も外科医にとっては致命的だ。それでも高いモチベーションを持ち、挑戦する人が引きも切らない。関東の病院に勤務する36歳の

男性も、10年前、学士編入制度で医学部に入った一人だ。農学部を卒業後、製薬会社で社員をしていたが、心の底から楽しいと思える仕事ではなく、思い

切って医学部の受験を決意した。仕事で抗がん剤を扱っていたこともあり、がんや腫瘍学の専門医になりたいと思いついた。「それでも会社をやめるほどの勇気はありませんでした」

働きながら時間を捻出し、約半年間の準備の末、10大学ほどを受け、山口大学に合格した。学ぶうちに関心が変わり、現在は膠原病科の医師として充実した毎日を送る。

だが、うまくいくケースばかりではない。冒頭の堤さんは、残念ながら合格はできなかった。現在は医学部受験の経験を生かして家庭教師をしている。いつか教えるから医学部に入る子が出たらいいなと思っている。「やりがいを感ぜられる仕事ができたいのは人生で初めて。後悔はしていません」(堤さん)

編集部 高橋有紀

どちらを選ぶ? 医学部再受験

	科目数の多さ乗り越えられるか? 一般入試	科目負担は少ないか、狭き門! 学士編入学
受験資格	高校卒業。現役高校生たちと同じ土俵で勝負	大学卒業
入学後	1年次に入学。学費は6年分	2年次または3年次に編入。学費は5年分または4年分
特徴	募集人員は1学年100人前後と多いが、国公立の場合、科目数の多いセンター試験を勉強し直す必要がある。試験時期は1~3月	募集人員はどの大学も数人程度と少なく、狭き門となる。すべての大学で行っているわけではない。試験時期は大学によって異なり、5~10月頃に試験をする大学が多い。旅費と受験料はかかるが、日程が分散するため併願しやすく、複数回チャンスはある
一般的な試験内容	【国公立】センター試験(5教科7科目*)→2次試験(学科試験:英語、数学、理科2科目【物理、化学、生物】の3教科4科目が一般的。面接、小論文など) 【私立】3教科4科目の筆記試験→2次試験(面接・小論文。2次試験のない大学も)	学科試験+面接、小論文、集団討論など。学科試験は英語、生命科学、数学、化学、物理など大学による。最初に書類審査がある場合も

*1 5教科7科目(理系)は一般的に【国語】国語、【数学】数I必須、数II・工業数理・簿記・情報から1、計2科目。【理科】物理・化学・生物から2。【外国語】英・独・仏・中・韓から1。【社会】地歴・公民から1。(地歴)世界史B・日本史B・地理Bから選択。(公民)現代社会・倫理・政治経済・「倫理・政経」から選択 *2 2次試験は数学に数IIIが含まれる場合も



ヒシンの合コン、内緒のデート、打ち上げ、後輩との飲み会、一人メンシ...

芸能人は、店選びに困ったらこの男に聞く。

個室で蟹をさばいてくれる店 串のない焼鳥の店
世界遺産のオムレツがある店 2000円以上使ったことがない店
手づかみで魚介を食べる店...etc 全77軒!

芸能界のアテンド王が教える

最強の店 77軒

年間500軒 食べ歩く男

渡部建 アンジャッシュ

今、僕が自信をもってお薦めできる東京の店、全部お教えします!

文藝春秋

〒102-8008 東京都千代田区紀尾井町3-23
Tel.03-3265-1211(代) http://www.bunshun.co.jp

